

ふるさと探訪

第72回 実報寺の一樹(ひとき)桜



実報寺の境内に、一樹桜と呼ばれている立派な桜の木があります。ソメイヨシノの淡紅色よりもさらに純白

に近い花を付ける、エドヒガシという種の古木です。寛政7(1795)年に、

当地を訪れた小林一茶がその見事な枝ぶりを見て、「遠山と見しは是也花一木」と詠んだと伝えられています。全国各地の著名な桜の遺伝



白みを帯びた何万もの花に覆われた一樹桜



所在地 実報寺甲758

子を保護するため整備された独立行政法人森林総合研究所多摩森林科学園のサクラ保存林には、この一樹桜の挿し木も植えられています。また、旧東予市によって平成2年に天然記念物の指定もなされています。

取材日には多くの写真愛好家が訪れ、境内にある同種の老木二本とともに、陽光にきらめく満開の一樹桜の姿をカメラに収めていました。